

Japan-YWP、Water Loop 共催ワークショップ 開催報告

水の未来はどこへ向かうか2

～老朽化・気候変動対応に向けたイノベーション～

<概要>

開催：Japan National Young Water Professionals (Japan-YWP)、Water Loop 共催

日時：2019年12月14日(土) 13:30~17:00

場所：京都大学桂キャンパス グローバルホール人融

プログラム

13:30~13:50	開会挨拶	Japan-YWP 代表 浅田安廣
	Japan-YWP 活動紹介	Japan-YWP 藤木一到
	Water Loop 活動紹介	Water Loop 代表 船岡 英彰
13:50~14:00	前回の振り返り、趣旨説明	Japan-YWP 横井貴大
14:00~14:40	グループディスカッション① 上下水道施設の老朽化や、気候変動の影響など、参加者が感じている課題について話し合いました。	
14:40~15:10	休憩 他グループで抽出された課題を共有し、欠けていた部分を補完。	
15:10~16:00	グループディスカッション② 老朽化や気候変動対応に向けたイノベーションについて考え、ポスターにまとめました。	
16:00~16:40	グループ発表	
16:40~16:50	振り返り、両代表よりコメント	
17:00	閉会	

<開催報告>

関西で活動する水関連若手ネットワーク Water Loop との二回目の共催イベントとして、京都大学でワークショップを開催しましたので、その様子をご報告します。

2019年2月に開催した第1回ワークショップでは「2050年の水の未来」について考え、その結果、将来の課題の中でも上下水道施設の老朽化や気候変動が特に重要視されていることが分かりました。そこで今回は老朽化や気候変動にフォーカスし、産官学の若手がそれぞれに持つ情報を共有しながら具体的に議論することでイノベーションのきっかけが生まれることを期待し、ワークショップを企画しました。

大学生を含めた産官学の多くの若手に参加いただき、積極的なディスカッションが交わされました。異業種・異分野の水専門家が意見を交わす場はとても貴重で、普段は考えが及ばないような知見が得られたと思います。

次年度以降も、関西での Japan-YWP の活動をより活発に行えるよう努めてまいります。

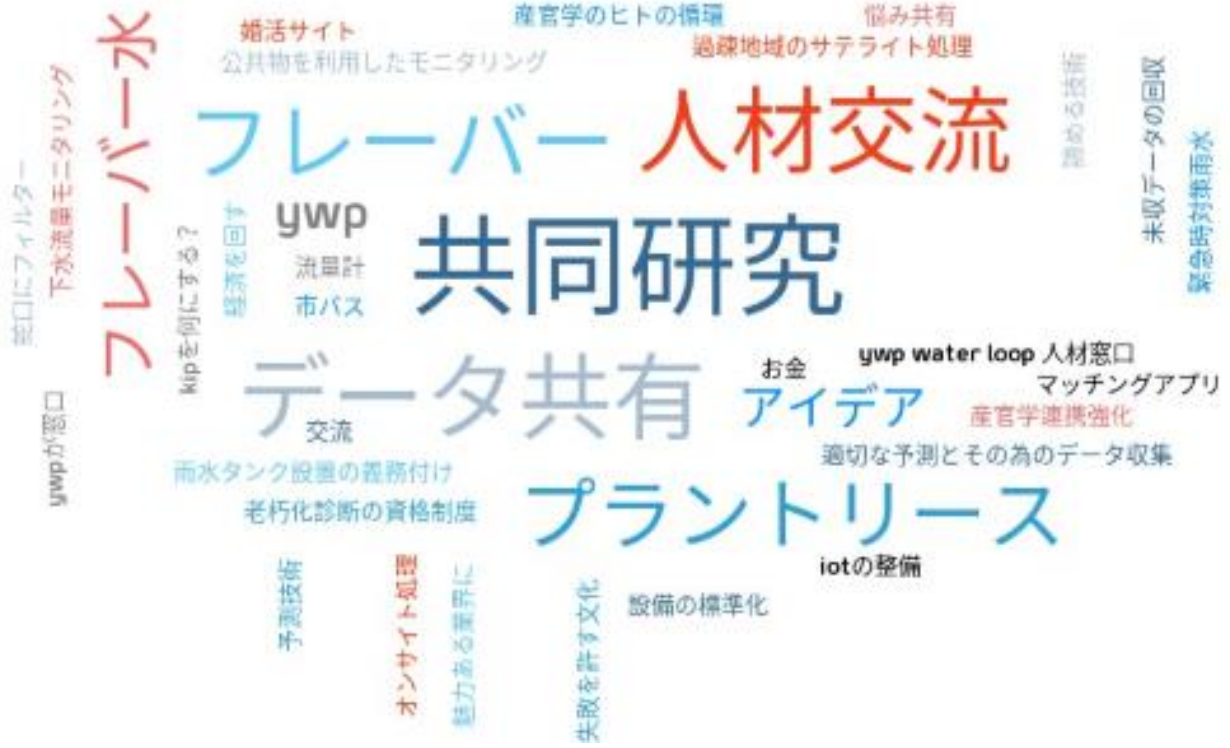
<Mentimeter によるアンケート結果>

Mentimeter により参加者が投稿した意見の一部をご紹介します。

「老朽化や気候変動対応に関して、どのような課題・事例がありましたか？」

日照り	台風による原水濁度の異常上昇	台風でポンプ場水没！
度重なる豪雨による水道施設の損壊	水質異常	不明水対策
河川の氾濫	大湧水	短時間豪雨の増加
原水水質の急激な悪化	長雨	人材不足
膨大な資産の改築更新	大雨の増加	内水氾濫による処理場の水没
水温変化	道路の陥没	浸水
大雨で下水処理場水没	S40代の空気弁破損	北の地域で藻類による生物障害発生
財源不足	制御盤の場所	50年ものの設備
原水悪化	湧水問題	琵琶湖が抹茶色
配水管が壊れる	地下水位上昇→湧水量増	気温上昇→現場作業難航
台風による停電→断水	雨をコントロールする	巨大な吸水装置を設置
雨水タンク設置義務化	雨水タンク義務化	浸水情報メール
処理場施設のリース	処理プラントのリーズナブル	設備の標準化
IOTの整備	都市機能の集約	耐用年数の証明書発行
あきらめる		

「老朽化・気候変動対応へのイノベーションとは？」



「イノベーションを起こすために必要なものは？」



「今回のワークショップを通して思ったことを自由に入力してください」

Mentiおもしろい	飲み会の場	若手ならではの意見が良いね！
他の人の視点が大事	ヨーグレットが旨かった	関西万歳
斬新	お疲れ様	京大遠い
テキトー感がよい	関西万歳	新鮮
交流できた	お菓子を食べながら議論すると なごむ	実現性ありそうな出た！
面白かったです	異業種の方がどんどん参加して ほしい	人材の老朽化ってヘビー
新しい技術案検討の難しさ	思いもよらない悩みをそれぞれ 持っている	水道わからない
共通の事例が課題として認識さ れていた	勉強になりました	人、モノ、カネのヒトがこの場 にもびっくり
女性をもっと	女子が少ない	知見が広がった
普段聞けない話が聞けた。	アイデアの宝庫	女子増やそう
こういう機会は重要	若手に優しい	考えれば考える程、自分が何が できるか分からない。
議論しやすい		



Water Loop 船岡代表の挨拶



グループディスカッションの様子



集合写真